

べふてつどうたんぼう 別府鉄道 探訪

昭和40年代は、日本が戦後の高度経済成長期に入った時期でもありました。しかし、このころから次第に別府鉄道の存在が揺らぎ始めます。

昭和44年に貨物輸送部門において年間22万トンという最盛期を迎えた別府鉄道は、その後モーターゼーションの影響により、その輸送量を増やせないまま昭和50年代を迎えます。

このころ、別府鉄道において起こっていた問題として、輸送している製品が度重なる積み替え作業によって出荷先に届くまでに荷痛みを起こしていたこと、国鉄のストライキの続発により、予想外に輸送時間が長くかかり営業成績に悪影響を及ぼしたことがありました。また、トラックなど大型トレーラーが進出してきたために自動車輸送が一般化したこと、マイカーの普及により鉄道利用者が減少したこともありました。

そして、それに追い討ちをかけるように、国鉄が貨物大合理化計画（貨物輸送拠点化政策）を発表します。その内容とは、昭和59年2月1日から貨物取扱駅を神戸と姫路に限定するというもので、そうなること、別府鉄道が貨物輸送に使っている土山駅は利用できなくなってしまうのです。

こうして、いよいよ別府鉄道は昭和59年の1月31日をもってその営業を廃止することになりました。



▲昭和59年1月野口線別府口駅あたり

鉄道まの知識 【国鉄の合理化計画】

運賃や料金の値上げ、モーターゼーションにより利用者の「鉄道離れ」が起こったときに国鉄がとった策。この計画により、貨物など利用が低迷している分野を削り、より鉄道の魅力が発揮できる分野の強化に努めました。

【お詫び】9月号広報において「別府港の埋め立て」という表記がありました。正しくは「別府海岸の埋め立て」です。お詫びして訂正します。（郷土資料館）

花といっしょに暮らす素敵な毎日

宮西にお住まいの森津輝明さん・文子さんご夫妻にお話を伺いました。

ガーデニング歴は？

本格的には今年で12年目です。花の好きな母の影響で、小さいころからいつも身近に花がありました。

植物の魅力は？

どんな花でもそれぞれに本当に愛らしくて、手入れをしていると元気が出ます。いろいろな種類の花を植えられると思いますが…。

ノウセンカズラ、バラなど長年育てていますが、特に12年前に初めて手に入れた白いエンゼルストランペットがお気に入りです。5年前、鉢植えから地植えにしたら、喜んで何度も花を咲かせてくれました。甘い香りと姿に魅せられています。苗を知り合いからいただくこともあり、大切に育て続けていたら、いつのまにか、

我が家の庭は花でいっぱいになりました。また、我が家からよそのおうちへおすそ分けした花苗が、立派に成長しているのを見るとうれしくなりますね。

失敗談は？

大事に育てた花を何度もネキリムシのためにされました。

夫婦でいろいろなことにチャレンジされているようですが…

「かれあい自然農園」での野菜づくり、「花と緑の協会」での緑化活動、また水田川沿いでの花壇づくりに参加しています。

今後の予定は？

花友達をもっと増やしたいです。バジルやミントなどハーブ類も楽しみたいと思っています。

広げよう 花と緑の輪

播磨町花と緑の協会

▲エンゼルス
トランペット



▲花いっぱいの森津邸

▶問い合わせ 土木グループ
☎0794(35)2365